

桜を照らすは電気の光

Q. 大正13年のお花見の前に設置されたという「アーク灯」ってなんですか？

A. アーク灯は、放電現象を利用した初期の電灯です。



写真は、アーク灯の中でも、日本で最も多く使われたと言われる「ブラッシュ式アーク灯」です。

国内に現存する2台のうち1つが、東京の国立科学博物館 地球館 2階に常設展示されています。

高田では明治40年（1907）に電力の供給が始まり、第十三師団の兵営地決定の一因にもなりました。高田の桜と電気には、その始まりから縁があったようです。

（写真提供：国立科学博物館）

参考文献

深津 正 1988 「日本における電気利用と初期の電気事業」『東北の電気物語』東北電力株式会社

前島正裕 2010 「日本国内に現存するブラッシュ式と呼ばれる2台のアーク灯について」『国立科学博物館研究報告E類（理工学）』第33巻 独立行政法人国立科学博物館